

サン＝ジェルマンに誕生した5つ星ホテル”ヴィラ・デ・プレ”、プレスヴィジット。



内装は、“マダム・レーヴ”を手がけたブルノー・ポリッシュ。彼は、スタルクやウィルモット出身で、スタルク時代、浅草のアサヒビールや白金台のユーネックス・ナニナニのデザインを手がけたそう。

定番のパリイメージでなく、モダンでシック、そしてアートセンスに満ちた心地よい空間。

最上階のスイットからは、エッフェル塔やサン＝ジェルマン・デ・プレ教会、サクレ＝クール寺院やバレ・ガルニエ、ルーヴルも見えて、映画の中のパリの雰囲気満載。

ホテル全体の壁を飾る絵画も、ギャラリーにいる感じでとてもいい。聞けば、5人のアーティストをセレクトし、彼らに内観などいっさい見せず、ただ、“ホテルの内装に使う”とだけ告げて製作してもらってる。

プール&サウナやジム、エステ空間も素敵。



ゲストのリクエストに合わせて、船パーティー演出したり、



ロマンティックな演出も。
この寝室に入った途端、お花の香りがあまりに素敵で、たくさん深呼吸。
すぐそばにある、オズ・ガーデンのお花。さすが〜。





パリ滞在を記憶するかわいらしいメモ帳かれて、ポラロイドも貸してくれる。

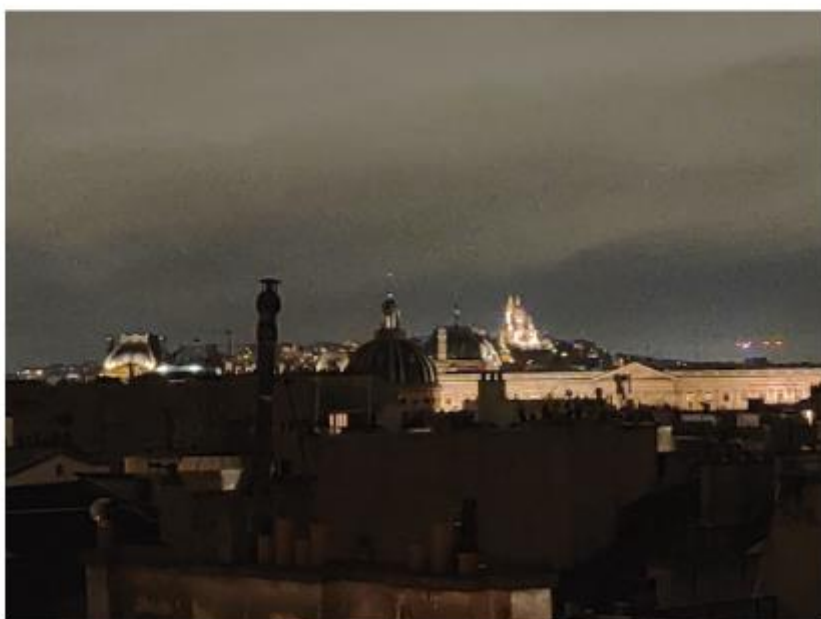


ヴィジット中、スイートルームや素敵な階段で、クラリネットの生演奏が盛り上げてくれる。

この素敵なスイットは、ダイニングテーブルもあり、お友達呼んでホームパーティーも開ける。もちろん、音楽演奏もリクエスト可。



スイットからの眺め。エッフェル塔とサンジェルマンデプレ教会の先っぽが見える。右は、右岸一望。





下を向くとビュッシ通り



素敵なサウナとラウンジを備えたプール。お向かいにジム。

バーに落ち着き、クリスマスツリー眺めながら、おいしいカクテル片手におしゃべりタイム。





風船もらって、またね、ヴィラ・デ・ブレ。



ホテルを出ると、サン＝ジェルマン大通りのクリスマスイルミネーション。みんなが夢見るパリがここにある。

編集部より：この記事は加納雪乃さんのブログ「パリのおいしい日々5」2023年12月16日の記事を転載させていただきました。オリジナル原稿をお読みにになりたい方は「[パリのおいしい日々5](#)」をご覧ください。